

令和2年度 林業試験研究推進計画書

| | | | |
|---------------|----------------------|----------------|-------------|
| 1 課題名 | サカキ・シキミの栽培技術向上に関する研究 | | |
| 2 研究期間 | 平成29年度～令和3年度 | 3 総括責任者 | 森林経営課 藤本 浩平 |

4 背景と目的

サカキやシキミは、安定した需要が望める特用林産物であるが、近年、生産者の高齢化により全国的に生産量が減少しており、本県でも同様の理由で放棄状態の生産地が各所に見られる。現在の市場でのサカキ・シキミの需要は大きく、特にサカキは、国産品の代替となっていた中国産品の価格上昇もあり、市場はより品質の高い国産品を求めている。また、サカキはスギ・ヒノキ人工林下での栽培に適しており、その普及が木材価格の低迷に喘ぐ林業経営者にとって安定した副収入源につながる可能性がある。以上のことから、高知県では中山間地域活性化を目的として全庁的にサカキ・シキミの振興を開始した。

科学的知見に基づいた栽培技術の普及が求められるが、人工林を利用したサカキの栽培に関しては不明な点が多く、高知県の環境条件にあった栽培技術の開発に早急に取り組む必要がある。また、サカキ・シキミとも県外との品質競争に勝てる病虫害対策や優良品種の選抜・保存についても取り組む必要がある。

そこで本研究では、県内外の生産地や栽培に適した人工林を調査し、作業の効率化や増収技術を明らかにして、人工林内を利用したサカキの成園化に向けた技術を開発する。新たに発生した虫害に対する防除方法を検討するとともに、既往の病虫害防除についても予防および対策を検討する。サカキとシキミの優良品種を県内外から収集し栽培保存する。本県のサカキ・シキミの栽培普及を強化し、中山間地域の活性化に寄与することを目的とする。

5 到達目標

- 1) 人工林内を活用したサカキ栽培技術の確立
- 2) 病虫害防除技術の検討による品質向上
- 3) サカキ・シキミの優良系統選抜保存園の整備

6 研究年次計画

| 試 験 計 画 | | 担当者 |
|---|--------|-----------------------|
| 試験項目・試験内容 | 試験年度 | |
| スギ・ヒノキ人工林内を活用したサカキ栽培技術の確立 1) サカキ栽培に適した人工林の選定 2) 人工林の間伐と林内整備方法及び植栽方法の検討 3) 仕立て方及び管理方法の検討 4) 切り出し方法と作業の軽減化 5) 年間作業工期調査 | H29～R3 | 森林経営課 藤本浩平 黒岩宣仁 |
| サカキ・シキミの病虫害防除対策 1) オビヒメヨコバイ族によるサカキ吸汁性被害調査 2) オビヒメヨコバイ族の防除方法の検討 3) シキミの病害調査 4) 病虫害情報の収集と病虫害防除方法の検討 | H29～R3 | |
| サカキ・シキミの優良系統選抜保存園の整備 1) サカキ・シキミの優良系統選抜保存 2) 育苗方法の検討 | H29～R3 | |
| 栽培技術マニュアル作成 | R2～R3 | |

7 当年度研究実施計画

- 1) 照度が異なる人工被陰下でのサカキ栽培試験
- 2) オビヒメヨコバイ族の発生消長調査
- 3) シキミ病害の被害調査

- 4) 病虫害情報の収集
- 5) サカキ・シキミの優良系統の収集